

# 平成27年度 事業計画

## 1 今後の事業の方向性（案）について

別紙1 参照

## 2 公益事業

### (1) 公益目的支出計画事業

計画事業として申請した3事業を継続して実施します。

- ・地域情報化セミナー
- ・九州ICT広域連携シンポジウム
- ・情報発信基礎力向上研修

### (2) その他自主事業

#### ① (仮称) 最新ICTサービス普及啓発セミナー

クラウド、セキュリティ分野等をはじめ、現状の様々な最新ICTサービスの「具体的なメリット」等について詳しく知る機会の少ない地域（エリア）、及びより詳しく知りたい要望のある地域（エリア）を対象とした普及啓発セミナー活動を、会員をはじめとした関係機関とチームづくりを行い実施していく予定です。本事業は、現状の地域における情報化ニーズを会員と一緒に幅広く調査し、今後の様々な情報化関連事業計画等に寄与させていくことも目指しています。

#### ② 九州地域ICT利活用調査研究会活動

平成27年度まで宮崎県西米良村における活動を可能な範囲で継続していきます。

#### ③ その他

- ・国におけるICT関連施策の動向等を紹介していくセミナー事業も適宜計画していく予定です。
- ・情報通信月間事業等、関係団体等から共催依頼等のなされた事業について、費用対効果等を含め、適宜実施を検討していきます。

## 3 収益事業

### (1) コンサルティング事業

会員と連携しながらコンサルティング事業の更なる拡充に努めていきます。

### (2) 防災GIS導入の拡充

様々な自主事業とも絡めながら防災GIS導入拡充に努めていきます。

### (3) 人材育成研修事業

平成26年度からスタートした「ビッグデータ人材研修事業」の結果を踏まえ、データ分析に関する多様な研修メニューを構築し、一般参加型の研修事業のみならず、各組織内での研修への採択に向けた取り組みをより一層進めていきます。

### (4) 事務局受託事業

平成26年度に引き続き、情報通信関係団体の事務局事業を受託します。

別紙 1

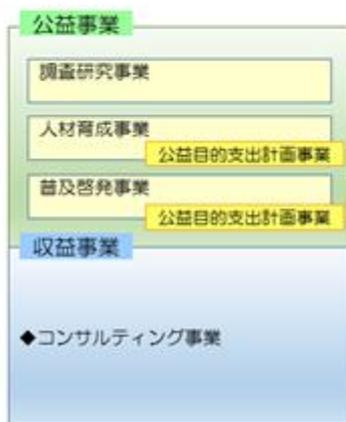
# — 今後の事業方向性について（案） —

（一社）九州テレコム振興センター（K I A I）



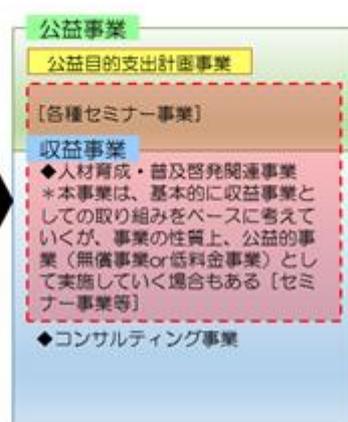
## ■新たな事業スキーム（案）について

【従来事業スキーム】



地域情報化に関連する  
様々な事業を幅広く  
実施する

【新事業スキーム】



地域情報化に必要な新技術、  
新サービスに対する人材育成、  
普及啓発推進を主要事業とする

**KIAI**

■（赤字）公益事業は原則、公益目的支出計画として提出した  
「地域情報化セミナー」  
「ICT連携シンポジウム」  
「情報発信力研修」  
の3事業のみに集約する

■人材育成、普及啓発関連事業は当面、以下の2つで構成  
・有償研修事業  
年度単位で、最新の技術・サービスを対象とした全体テーマを計画的に設定し、年10回/程度の開催を目指す  
・各種セミナー事業  
地域における新たな情報化事業創出に向け、会員企業との協働のもと、トピック的話題をテーマとしたセミナーを、対象者、対象地域を明確化したうえで適宜実施していく

■コンサルティング事業は、従来の事業と併せ、上記事業との連携を図っていくことで全体効率の更なる向上を図る

九州地域情報化におけるK I A Iとしての立ち位置を改めて確立

## ■現状背景



### 【組織背景】

S63  
九州テレコム  
振興センター

情報通信基盤整備  
パソコン普及促進  
イントラネット普及  
CATV普及促進 等

H19

九州情報通信連携  
推進協議会(KIAI)

### 【組織背景】

BBインターネット普及促進  
産学官連携事業推進  
ICT高度利活用促進  
デジタルデハイド解消 等

H22

九州テレコム振興センター (K I A I)

### 【組織目的】

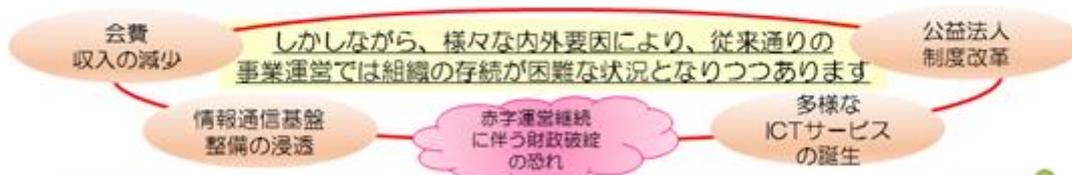
九州における地域情報化を幅広く支援していくため、情報通信分野における広域的な産学官連携の推進を図り、もって豊かな地域社会創出に寄与することを目的とします

この組織目的に基づき、毎年度3項目を柱とした公益的事業を個々に実施してきました

調査研究

人材育成

普及啓発



九州テレコム振興センター (K I A I) が有する組織目的は保持しつつも、今後の中長期的な事業実施に関しては、明確な焦点を定めていく必要が生じています (現在は何もかもをやっている状況下ではない)

1

## ■新たな事業方向性について



### 【方向性策定の目的】

事業の効率化を図るという観点だけではなく、今後の九州の情報化推進におけるK I A Iのポジション (立ち位置) を明確化させ、K I A Iとしての中長期的な組織意義を幅広く示し、将来に向けた持続・継続的な組織運営実現に必要な新たな事業方針を構築していくことを主目的とします。

以上の目的を鑑みた場合、具体的事業の方向性検討に際しては以下の観点が求められてくると考えます。

K I A Iならではの (K I A I だからこそできる) 事業とは？

九州の地域情報化に幅広く資する事業とは？  
<ただし、多様な事業運営は現状組織力として困難>

中長期的にも継続的にニーズが存在する情報化関連事業とは？

会員と成果を共有できる可能性が高い事業とは？

費用対効果を比較的高く見込める事業とは？

換言すれば、以下のような内容を満たす事業とも言えます



### 【人材育成・普及啓発関連事業】

(地域情報化の大きな原動力である「人材育成分野」に関する取り組みを今後の中長期的な事業活動の中心に据え、「ICTの普及啓発」と併せ、これらに注力した新たな各種事業を進めていくことで、KIAIの組織意義を改めて明確化していきます)

2